

第2期舟橋村総合戦略(令和3(2021)年度から令和7(2025)年度まで)
 ～基本目標、施策及び具体的事業並びに達成状況について～

基本目標4 “たのしむ”を応援

目標数値 主体的参加者数(実数) 50人/5年間

基本的方向(1) 住民参加型イベントの開催

施策① 月イチむらふえすの開催

〈事業等〉月イチむらフェス、自然体験事業

基本的方向(2) 家族で休日を楽しめる場の創出

施策① 家族で休日を楽しめる身近な公園づくり

(各種の月イチイベントの開催により、「私が主役になれる場」を創出)

〈事業等〉月イチ園むすび

基本的方向(3) 多世代コミュニティの形成に向けた取り組みの推進

施策① 多世代コミュニティの形成

〈事業等〉健康意識啓発事業、ふなはしまつり助成、郷土芸能継続支援、舟橋会館サードプレイス事業

【目標数値の達成状況】 ※各年度の累積値

指標	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
主体的参加者数(実数50人)	22	25	31		

※主体的参加者(自らの意思で進んで行事の企画や運営に協力した方)

【KPI(重要業績評価指数)】 ※各年度の累積値

指標	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
(1)住民参加型のイベントの開催 むらふえす開催数(50回)	19 (5)	52 (12)	56 (10)		

スマホ教室は スマホ教室は

[村のコメント]

別で35回 別で40回

月イチ園むすびや、むらふえす事業に協力する団体や個人が年々増加し、一緒に楽しみながら事業を開催できるようになってきている。

村に住まう人たちが地域に関わることで「舟橋村に住んでよかった」「舟橋村の住民でよかった」と実感し、地域への誇りと愛着が醸成された。

令和6年度からは舟橋会館を中心に、自然体験や各種講座を展開していくことで、村のサードプレイスの中心的役割を果たしていく。

月イチ園むすび等の”たのしむ”イベントにより、主体的参加者は年々増加している。